

お出かけしたい

公園もいいけど、寒い日や雨の日は、屋内の施設が安心。スタッフや親同士での情報交換も盛んですよ。

キッズピアおおがき・南部子育て支援センター

子育て世代の親子が気軽に集い交流し、相談や情報交換などができます。

*とき／午前10時～午後5時（キッズピアおおがきは原則月曜休み、南部は原則火曜休み）

*問合せ／キッズピアおおがき交流サロン（☎47-8910）、南部子育て支援センター交流サロン（☎47-7014）へ



利用者の姉崎彩奈さん
想生くん、心咲ちゃん

寒い日など室内で遊べてうれしい。ママ友もできて私が楽しみにしています

子育てサロン

子育て中の親子などが交流できるサロンを地区センターなど市内13か所で開催（各施設、週1回ほど）。季節に合わせた遊びが人気です。

*とき／各施設により異なる

*問合せ／南部子育て支援センター事務室（☎89-1232）へ



地域子育て支援センター

市内6保育園（ながさわこども園、わかたけ保育園、木の花保育園、荒崎幼保園、牧田保育園、墨保保育園）で開設。育児相談や絵本の読み聞かせ、子育て講座などを開催しています。

*とき／月～金曜日（時間は各施設により異なる）

*問合せ／各地域子育て支援センターへ

スイトピアセンター 学習館

市立図書館に併設している施設。水のパピリオンやコスモドーム、こどもサイエンスプラザなど体験しながら学べます。

*とき／午前9時～午後5時（原則、火曜休み）

*問合せ／同施設（☎74-6050）へ

スタッフ VOICE

地域で子育て一緒に働いてみませんか

便利な子育て支援サービスには、それを支えている人がいます。今回は、そんな人たちに、やりがいや大変さについて聞いてみました。

一緒に働いてみたい人は、各担当にお問い合わせください。

採用についての問合せ

市立保育園・幼稚園：子育て支援課（☎47-7096）

留守家庭児童教室：社会教育スポーツ課（☎47-8063）

ファミリーサポートセンター：大垣市社会福祉協議会（☎78-8181）

保育士・幼稚園教諭
武藤麻理さん



子どもの笑顔にやりがいを感じます

市立保育園・幼稚園

子どもは本当に個性豊かですね。12月の発表会では「三びきのやぎのがらがらどん」をやったのですが、最初はみんな個性が強くばらばらになっちゃって。でも次第に子どもたちから「大きな声をだしてー」とか、掛け声が出てまとまっていきました。子どもって短期間のうちに成長するんですね。そして、やり遂げたときの笑顔がかわいくて。ベタかもしれませんが、やりがいを感ずる瞬間です。

子育て支援情報をGET

市では、今回紹介した子育て支援サービスのほか、便利なサービスを冊子やインターネットで紹介しています。

詳しくは、キッズピアおおがき事務室（☎47-7200）へ。

水都っ子（冊子）

子育て支援情報を網羅している子育てハンドブック。出産時の手続き方法をはじめ、幼稚園や保育園などの入園、健診や予防接種、緊急時の預かりサービス、市内の病院の情報がまとまっています。

子育て支援課やキッズピアおおがき・南部子育て支援センターなどでもらえます。



ダウンロードはこちら



Android端末



iOS端末

子育て支援アプリ（スマホ）

イベント情報や施設マップ、離乳食の検索、予防接種の管理などができるスマートフォン専用アプリです。

子育て支援ポータル(Web)

子育て支援に関する行政・各団体・NPO法人などにおけるさまざまな取り組みやイベントなどの情報をホームページで提供しています。



Webページ

チケットで親子などの運賃無料♪

お子さんとバスでしゅっお出かけ♪

同一世帯の小学校2年生以下のお子さんを同伴し、市内にあるバス停で乗車・降車した場合に運賃が無料になる「親子お出かけバスチケット」。ぜひ、ご利用ください。

チケットの申請など詳しくは、子育て支援課（☎47-7092）へ。



ファミリーサポートセンター

私たちの仕事は、親さんが仕事などで忙しいときに、子どもを個別にお預かりすること。子育ては昔も今も基本は同じ。だけど、もっと良い方法があるんじゃないかと、仲間に聞いたり定期的に講座を受けたりして勉強しています。この仕事は将来ある子どもの大事な時期に関われる仕事。だからこそ信頼関係が大切なんです。興味を持たれましたら、子育てサポーター養成講座を受けてみてはいかがでしょうか。

大事な時期を預かる仕事。だから信頼関係が大切なんです



サポート会員
谷中やす子さん

指導員
齋藤淳子さん



おかえりなさい
ただいま
始まる教室です

留守家庭児童教室

私たちの仕事は、小学校から帰ってきた子をお預かりすること。ですから、あいさつは「おかえりなさい・ただいま」で始まります。ここはもう家なんです。家ですから子どもが「のんびり」できるよう心がけています。正直、私自身も仕事で悩むことがあります。そんなときは、仲間や先輩が助けてくれます。子どもや仲間を通して、私が成長させてもらっているんですね。